

# こくたか 連携だより

2019年発行  
第150号  
**7**月号

市民健康医学講座

いま心臓血管外科にできること  
～心臓や血管の病気と長く付き合うために～ … 2

心臓血管外科部長 高橋 徹

自慢できる看護を伝えよう  
—2019年度看護の日イベント— … 3

看護師長 武井 まどか 山本 京子 清水 弘子

地域連携症例検討会 … 4～5

消化器内科部長 工藤 智洋 消化器外科医長 塚越 浩志

高崎総合医療センター 診療科紹介 … 6～7

登録医の先生方へ … 7

栄養だより … 8

臨床検査科だより … 9

医師紹介コーナー … 10

地域医療連携登録医のご紹介 … 11

セカンドオピニオンのご案内 … 12～13

外来診療担当表 … 14～15

院長室だより/行事などのお知らせ … 16



シニア  
(5月～11月)

… 花言葉 …

「不在の友を想う」「幸福」  
「いつまでも変わらぬ心」



●地域医療支援病院 ●がん診療連携拠点病院

独立行政法人国立病院機構  
高崎総合医療センター



〒370-0829 群馬県高崎市高松町36  
代表 (TEL) 027-322-5901  
URL <http://www.tnho.jp/>

地域医療支援・連携センター(医療機関専用ダイヤル)  
(TEL) 027-322-5835  
(FAX) 027-322-5925

## 【理念】

患者さんから信頼される病院を目指します

## 【基本方針】

- 常に患者さん本位の医療を心がけます
- 研鑽に励み、安全で良質な医療を提供します
- 医療連携を積極的に推進し、地域医療に貢献します
- 良き医療従事者の育成に努めます
- 臨床研究を推進します
- 健全な病院経営を行います

## 【看護の理念】

人間の尊厳を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のこもった看護を提供します

## 【患者さんの権利を守ります】

- 誰でも良質で安全な医療を受ける権利があります
- 患者さんの人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力のもとで医療を受ける権利があります
- 病気、治療等について、十分な説明を受ける権利があります
- 他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります
- 病気等について十分な説明を受けたうえで、自分の意志で検査や治療方法を選択したり、他の医療機関を選択する権利があります
- 医療情報に関する個人のプライバシーが守られる権利があります



# いま心臓血管外科に できること

～心臓や血管の病気と長く付き合うために～

市民  
健康医学  
講座

心臓血管外科部長 高橋 徹



日本人の死因の第2位が心疾患、第9位が大動脈瘤及び解離です。一方で心臓や大動脈の手術は年間8万件以上で、年々増加しています。手術を行う代表的な病気のお話をします。

## 1 心臓弁膜症

心臓は1日に約10万回も収縮、拡張します。効率よく血液を送るため心臓には逆流防止弁があります。この弁が故障した病気が弁膜症で、弁が開きにくい狭窄症と弁の閉じが悪い閉鎖不全症があり、進行すると心不全になります。「弁」の故障に対して、「部品交換」する人工弁置換術や「部品を修理」する弁形成術を行います。患者さんの病状に合わせて手術方法を選択します。

## 2 虚血性心疾患

心臓が働き続けるには、筋肉に酸素と栄養を供給する必要があります。心筋に血液を送る血管（冠動脈）が動脈硬化で狭くなったり閉塞したりすることがあります。その結果、心筋に必要な血流量が不足して胸が苦しい（狭心症）、動けない（心不全）、心筋の一部が壊死してしまう（心筋梗塞）ことが起こります。冠動脈の狭い先にバイパスをつなぎ、血流不足を改善します（冠動脈バイパス術）。急性心筋梗塞では主に薬とカテーテル治療が行われます。

## 3 大動脈瘤

心臓が全身に血液を送りだすため、大動脈は常に高い血圧にさらされています。このため加齢による血管の傷み（動脈硬化）が起こります。

その結果、動脈壁が伸びて太くなった状態が大動脈瘤です。大動脈瘤は自覚症状がほとんどなく、他疾患の検査で偶然に発見されます。治療法には開胸、開腹して動脈瘤を人工血管に取り替える方法、体の負担が小さいカテーテル治療（ステントグラフト内挿術）があります。大動脈瘤が破裂すると大出血のため救命が非常に困難です。大動脈瘤の早期発見が大切です。

## 4 大動脈解離

大動脈壁が裂ける（解離）ため激しい胸背部の痛みで発症することが多く、死亡率が高い病気です。大動脈壁の解離した範囲によって緊急手術あるいは絶対安静が必要です。

### 心臓、血管の病気と付き合うための日常の注意点です。

- 1 健康診断を定期的に受けてください。早期診断と治療が大切です。
- 2 生活習慣の改善をしましょう。特に禁煙は重要です。
- 3 症状があるときは検査を受けましょう。「年齢のせい」ではないことも多いです。
- 4 必要なときは薬、カテーテル治療や手術を受けましょう。
- 5 胸、腹、背中に強い痛みが現れたら急いで病院を受診してください。急性心筋梗塞、大動脈解離や大動脈瘤破裂など致命的なことがあります。



# 自慢できる看護を伝えよう —2019年度看護の日イベント—

看護師長 武井 まどか  
山本 京子  
清水 弘子

5月12日は看護の日です。看護の日とは、看護に対する関心を高め、理解を深めてもらうとともに、看護の心、ケアの心、助け合いの心の認知・普及を目的に、フローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ1990年（平成2年）に制定された記念日です。メインテーマを「看護の心をみんなの心に」とし、全国で様々なイベントが行われています。

当センターでも、5月27日～5月31日の5日間、『自慢できる看護を伝えよう！』をテーマに14看護単位のポスターを掲示しました。来院された患者さんやご家族の方々へ、日頃の看護部の活動を知らせていただくと同時に、入院を予定されている患者さんの不安が少しでも和らぐことができるという思いで作成しました。どのポスターもそれぞれの部署で話し合い、悩みながら作成した力作で、イラストや看護実践場面の写真を盛り込むなどの工夫があり、病棟の特徴が良く表現されていました。特にちぎり絵で作成した病棟紹介には驚きました。看護師長として、スタッフが「自慢できる看護」をどのように表現するのか楽しみでもあり、このイベントを通じて、日々の看護を振り

返る機会にもなりました。

さて、日本看護協会では、看護の日にちなみ「忘れられない看護エピソード」を募集し公開しています。今年は、2,629作品が寄せられたそうです。このエピソードの中に、『患者のささいな言動に耳を傾け、限られた時間の中でどう生きたいのかを一緒に考えること、患者の思いに寄り添う看護師でありたい』と締めくくられたエピソードがありました。これはまさに、看護の心に触れた思いでした。患者さんの人生において、入院している時間はほんの一部です。チーム医療を推進していくうえで、私たち看護師は患者さんの身近な存在です。多忙な看護業務ではありますが、知恵と工夫、そして看護の力で患者・家族を支えること、そして看護師長として、スタッフ一人一人が患者さんの思いに寄り添った看護を実践できるよう教育していく必要があることを改めて感じました。

看護部の理念「人間の尊重を大切にし、専門的な知識、技術を持ち、心のこもった看護を提供します」に基づき、日々精進していきたいと思えます。

（文責：清水）





# 第15回 地域連携症例検討会

「令和」になって初めての第15回地域連携症例検討会が5月17日に開催されました。今回も多くの方にご参加いただき、誠にありがとうございました。

## 消化器内科

消化器内科部長 工藤 智洋



消化器内科の消化管分野としては、2016年6月6日の第1回来となります。今回も外科との合同開催となり、当科は早期癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）の症例3例を提示いたしました。司会進行を工藤が担当し、最新の内視鏡医療において進境著しい、増田智之医師がプレゼンターを務めました。

1例目は早期直腸癌です。3cmを超える扁平隆起型病変で、いわゆる側方発育型腫瘍（LST）です。大きな結節が混在しており、光デジタル法の画像強調（NBI）を組み合わせた拡大内視鏡観察では結節の一部に癌の存在が疑われました。一括切除するためESDを行ったところ、やはり早期直腸癌の診断であり、治癒切除判定が得られました。内視鏡下に高周波ナイフで粘膜下層を1mm未満の単位で剥離していく画像を供覧しました。大腸では術前の生検が災

いし、粘膜下層に線維化をきたして剥離が困難になってしまう恐れがあることを報告しました。内視鏡治療を行う可能性がある「大腸」病変につきまちは、生検せずにご紹介いただけますと幸いです。

2例目は胃前庭部の胃癌です。一見して癌が深く浸潤していそうな凹凸のはっきりした病変でした。しかし、内視鏡で送気量を増減すると腫瘍の形状が変化したため、意外と浅い癌ではないかと思われました。「一括切除した病変を病理検査で最終評価する」という診断的側面がESDにはあるため、内視鏡治療を行いました。結果は一括切除に成功し、さらに病理診断で治癒切除判定が得られました。胃前庭部の癌は胃体部の癌と比較して、派手な形状の割には浅層に留まることが多く、この症例のように診断的治療としてESDを試みる場合があります。



3例目は胃体部の胃癌です。ごく小さな病変ですが境界が不明瞭であり、範囲診断に苦慮しました。NBI拡大観察で範囲診断ができなかったため、酢酸とインジゴカルミンを散布 (AIM) までして評価しましたが、それでも癌の境界に自信を持てません。最終的には「ここには癌がないだろう」と思える部位を病変の外側に4箇所設定して、これを生検して癌が検出されないことを確認しました (negative biopsy)。その数週間後にESDを行ったのですが、前回の生検痕を頼りに切除するラインを決定し、一括切除しました。その結果、水平方向の癌の取り残しはありませんでした。しかし、垂直方向で癌が粘膜下層へ深く浸潤していたため、追加切

除が必要になってしまいました。特殊な症例とはいえ、改めて術前の内視鏡診断の限界、難しさを実感することになりました。なお、この症例はピロリ除菌後であり、除菌後胃癌の内視鏡診断が難しいことは内視鏡学会のトピックスでもあります。

前回の症例検討会では「次回は症例をより熱く検討しましょう」と締めくくりましたので、今回はカンファレンスらしい形式で臨みました。昨年度のESD症例はついに100件を超えました。胃、大腸の他に食道の症例も多数経験しておりますので、次の機会には食道ESD 症例も提示したいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願いたします。

## 外科



消化器外科医長 塚越 浩志

5月17日に、消化管領域の地域連携症例検討会を開催させていただきました。

消化器外科からは、食道、胃、大腸癌の当院における現在の治療内容、及び地域の先生方からご紹介いただいた症例を提示させていただきました。食道癌に関しましては、田中が担当し、ガイドライン含め、手術のみならず集学的治療についてもお話しさせていただきました。胃癌につきましては榎田が担当し、術前化学療法後の手術症例、腹腔鏡下胃切除・胃全摘術の症例を提示させていただきました。大腸癌につきま

しては塚越が担当し腹腔鏡下での手術症例を2例提示させていただきました。いずれも術中の動画を提示させていただき、当院での実際の治療内容を地域の先生方に直に感じていただけたことと思います。また、とても活発な議論ができ充実した会となりました。先生方からご紹介いただきました患者さんをきちんと治療し、合併症なく退院できるようスタッフ一同日々努力を重ねておりますので今後とも宜しくお願申し上げます。



消化器内科 増田智之



外科 榎田泰明



外科 田中成岳



外科 坂元一郎



# 高崎総合医療センター 診療科紹介



## 消化器内科

### ■ 診療方針

平成24年4月に消化器病センターが設立され、消化器内科と外科の連携を密にした専門性の高い治療を行っています。また、がん診療連携拠点病院として、消化器内科では食道・胃・大腸・肝・胆道・膵がんなど消化器系の幅広いがんが対象となります。がんの早期発見はもちろん、治療方針を決定するためには確実な病期判定が必要ですが、内視鏡検査、超音波検査、血管造影、肝生検、消化管造影など様々な検査を日々行っています。

さらにCTやMRIなど画像所見を参考に診断を行い、エビデンス、ガイドラインに基づいて治療方針を決定します。毎週定期的に開催される外科とのカンファレンス（消化器がんボード）に症例を提示し、手術適応や治療方針について意見を交換し合っています。また、肝がんに対するインターベンション治療やラジオ波治療、早期の食道がん、胃がんおよび大腸がんに対する内視鏡治療、症状緩和を目的とする姑息的内視鏡治療（悪性消化管狭窄に対するステント留置、EUS-BD等）なども積極的に行っています。

当院は救急病院でもあるため、上下部消化管出血、急性肝炎、胆道感染症、急性膵炎、閉塞性黄疸、イレウスなど消化器系の急性疾患も受け入れています。夜間休日はオンコール体制により救急症例に24時間対応しており、いつでも緊急の検査および処置を行うことが可能です。

その他にもcommon diseaseから難治性疾患に至るまで様々な消化器疾患に対処しており、上記のがん診療、救急診療を含めて地域医療連携を通して地域の中核病院としての役割を果たすことを目標としています。また、若手消化器内科医の育成や研修医の指導に力を注ぎ、学会や研究会への参加、主題発表、症例報告、論文作成等に積極的に取り組んでいます。



### ■ 治療実績手術数（平成29年度）

検査・治療名	件数
上部消化管内視鏡	2,636件
内処置、治療	ESD61件、PEG44件、止血72件
内視鏡的逆行性膵胆管造影 処置、治療含む	352件
EUS-FNA	7件
EUS-HGS	0件
内視鏡的食道静脈瘤硬化術	18件
内視鏡的食道静脈瘤結紮術	19件
PTBD	60件

検査・治療名	件数
下部消化管内視鏡	1,935件
内処置、治療	ポリペク/EMR301件、ESD13件、止血
肝のう胞穿刺排液固定術	1件
肝生検	79件
B型肝炎 核酸アナログ治療患者	58名
C型肝炎インターフェロン・フリー治療患者	92名
腹部血管造影	162件
肝がん経カテーテル治療	83件
部分的脾動脈塞栓術 (PSE)	8件
バルーン閉塞性逆行性経静脈的閉塞術 (BRTO)	0件
ラジオ波治療	69件
炎症性腸疾患 分子標的薬治療	54名
炎症性腸疾患 血球成分除去療法	2名
小腸カプセル内視鏡検査	12件
内視鏡的消化管ステント留置術	大腸13件、十二指腸13件
LECS	1件

登録医の  
先生方へ

# 紹介事前予約について

## 紹介患者の事前予約について

月曜～金曜日 **8:30～18:30**  
土曜日 **8:30～17:15**

まで受け付けております。是非ご利用ください。

**連絡先** 地域医療支援・連携センター

**直通 F A X** 027-322-5925

**医療機関専用ダイヤル** 027-322-5835



事前予約申込書にて地域医療支援・連携センターにFAXでお申し込みください。

折り返し予約時間をお電話でご連絡させていただきます。

FAXは24時間受け付けております。上記時間以外のFAXには翌予約受付時間内にお返事させていただきます。

※事前予約申込書をご用命の際は、地域医療支援・連携センターにお電話でお問い合わせください。

# 栄養だより

1日に  
どのくらいの  
栄養が  
必要なの？



## 「日本人の 食事摂取基準」とは

厚生労働省がまとめている「日本人の食事摂取基準」。1日に必要なエネルギーや栄養素の基準量が性別・年齢区分別に示されています。

5年ごとに改定されており、来年には2020年度版が策定されます。2020年度版では高齢者についての基準が充実することになっており、社会状況の変化が反映されていることがわかります。また塩分についても目標量の引き下げが予定されており、ますます「減塩」に注目が集まることになるでしょう。

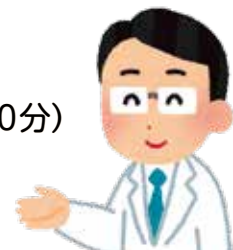
減塩



「日本人の食事摂取基準」は健康の保持・増進、生活習慣病の予防を目的としており、健康なひとを対象としたものです。そのため病気によっては基準値とは異なり、エネルギー (kcal) やたんぱく質、脂質、ナトリウムやカリウムなどについて医師から指示量が示される場合があります。食事療法が必要な方、必要な栄養量について具体的に知りたいという方は、ぜひ管理栄養士による栄養指導をご活用ください。

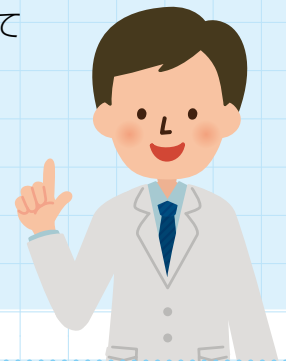
**入院・外来栄養指導** 平日9:00~16:30 (初回概ね30分)

指導を希望される方は担当医師にお伝えください

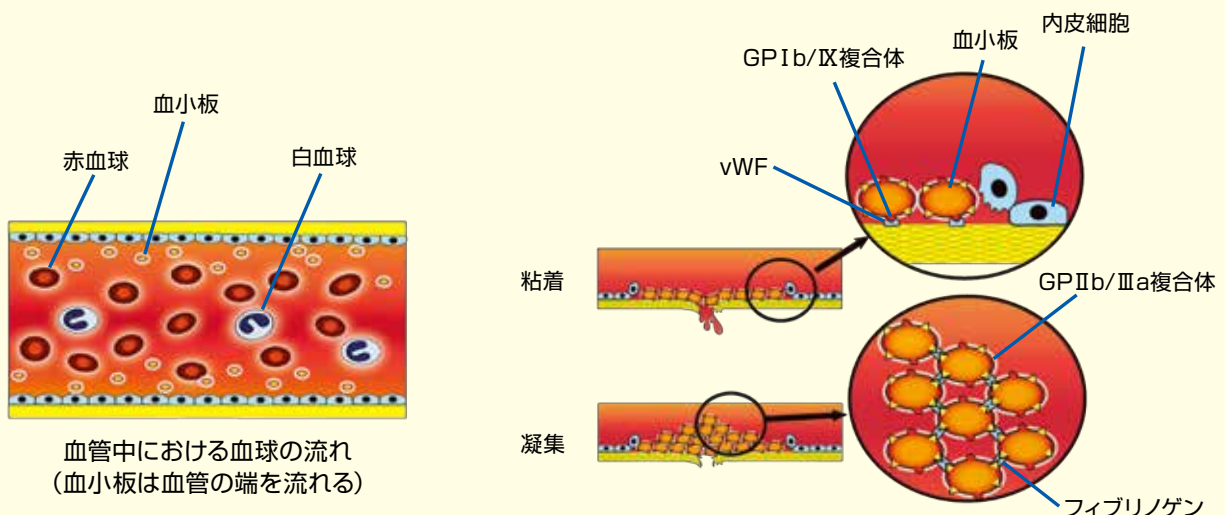




血流中の血液細胞は、血管の中心部で赤血球や白血球が流れ、容積の小さい血小板は、血管壁すなわち端の方を流れ、血管内皮細胞と共に血管壁の正常状態の保持に努めています。この状態からひとたび血管の破壊が起これ、血管皮下組織のコラーゲンが露出すると、そのことが要因となり壊れた部位に血小板は①粘着、進展し血栓生成がはじまります。次の行程として粘着、活性化した血小板は、顆粒を放出し新しい血小板が続々と集まってきて②凝集を起こし血小板血栓（一次止血）が形成されます。一次止血の血栓は、不安定で脆い状態なので、固い状態にする必要があります。そこで③血小板膜表面の活性化により凝固カスケードが活性化、これによりフィブリン網が作られ、このフィブリン網が血小板血栓を囲い込み固いフィブリン血栓（二次止血）が形成されます。



- ① **粘着**：血管が破れると血管の内側の壁（血管内皮下組織）のコラーゲン繊維が露出します。血小板はこのコラーゲン繊維に反応して粘着します。この時にフォン・ウィルブラント因子（vWF）といった物質が血小板膜表面のGPIb/IX複合体とコラーゲン繊維を結びつける仲介役を担います。
- ② **凝集**：血小板がコラーゲン繊維と結びつくと血小板は活性化が促進されるとともに形態変化を起こし金平糖状になります。血小板膜表面のGPIIb/IIIa複合体は血漿中のフィブリンゲン（凝固第Ⅰ因子）が結びつくことで凝集し血小板血栓を形成します。
- ③ **放出と血小板活性化**：活性化した血小板はADP、セロトニンを放出し周囲の血小板を活性化し、活性化を増幅します。さらにトロンボキサンチンA2を放出、トロンボキサンチンA2は血小板を活性化、血小板凝集促進、血管の収縮を増幅します。これらのことにより次々と周囲の血小板を活性化していき血小板が集まり、血小板凝集が形成され前述のとおり固いフィブリン血栓が形成します。



血管中における血球の流れ  
(血小板は血管の端を流れる)

# 医師紹介 コーナー

当センターの  
医師を  
紹介します!



初めまして、武藤壮平と申します。今年の4月から当院勤務となりました。

出身は群馬県で、前橋高等学校を卒業後、福井大学医学部医学科に入学して6年間、北陸に住んでいました。大学時代は水泳部に所属して、主に個人メドレーで大会に出場していました。福井県は群馬県と同じく自然豊かで、海産物もおいしく、伸び伸びとした大学生活を送っていました。大学卒業後は群馬県に戻り、伊勢崎市民病院・桐生厚生総合病院・群馬大学医学部附属病院で勤務した後、当院勤務となりました。

高崎に来るのは初めてですが、活気があり、住みやすい街だと思います。時間がある時は高崎の街を散策しています。外来では糖尿病・甲状腺を中心に行っていますが、内科全般を幅広く診させて頂くことを心がけています。上記疾患でお困りのことがありましたらお気軽に相談下さい。今後も地域医療に貢献できるよう、精一杯努めさせて頂く所存です。

宜しくお願いいたします。



● 内分泌代謝内科

むとう そうへい  
武藤 壮平

初めまして。2019年4月から高崎総合医療センター総合診療科で勤務させていただいている、真下大和（ましも やまと）と申します。医師として13年目になります。

地元出身で、高崎高校を卒業後、帝京大学医学部に入学しました。卒業後は、11年間帝京大学病院に勤務していましたが、地元への思いが募り、地元に戻って参りました。趣味はテニスで、現在一児の父親でもあり、休みの日は子供と遊ぶことが楽しみです。

糖尿病専門医・指導医、動脈硬化専門医・指導医を持っていますが、帝京大学病院では膠原病など幅広い疾患を経験しており、現在の職場でもその経験を生かしていきたいと思っております。活気のある研修医や若手の医師が多く、自分も元気をもらっています。総合診療科として地域医療に貢献するという使命感を持ち、仕事に邁進していく所存です。

どうぞよろしくお願い致します。



● 総合診療科・内科

ましも やまと  
真下 大和



# 地域医療連携登録医 のご紹介

地域医療連携登録医の皆さまと  
パートナーシップを組んで診療に取り組んでいます。

## 湯浅内科クリニック

### 院長あいさつ

渋川駅前に開業して十数年がたち、患者様やその家族のことを考えながら診療する「家庭医」として地域に貢献できるよう、わかりやすい指導と最新の医療情報に基づいた確かな診療を目指しています。

高崎総合医療センターは旧知の先生も多く、これからお世話になることも多々あると思います。よろしくお祈りします。



湯浅内科クリニック  
院長  
**湯浅 圭一郎**



### 診療科・病院案内

#### 内科・消化器科・アレルギー科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:00~12:30)	●	●	●	●	●	●	△
午後(2:30~6:00)	●	●	●	●	●	△	△

群馬県渋川市渋川1824-21 TEL:0279-20-1311

肝疾患をはじめ消化器病が専門ですが、内科疾患に関しては何でもご相談ください。

祖父が旧湯浅院を昭和2年に設立し、100周年も目の前ですが今後も地域の中核病院と連携をとりつつ、皆様のよきパートナーとして頑張ります。

## 医療法人 星美会 星澤歯科医院

### 院長あいさつ

私ども星澤歯科では、地域に根差した歯科医院となるべく、口腔外科・歯周病科・矯正科の専門の先生方に在籍していただき、セカンドオピニオンが行える歯科の総合病院のような体制を目指しております。



星澤歯科医院  
院長  
**日下部 有**



### 診療科・病院案内

#### 歯科・小児歯科・口腔外科・矯正科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前(9:30~13:00)	●	●	●	●	●	●	△
午後(2:30~7:00)	●	●	●	●	●	●	△

群馬県安中市原市3-4-52 TEL:027-385-1051

当医院は地域に根差した診療を心がけています。その一環として一般歯科診療以外に矯正診療・訪問診療・ホワイトニングなども行っております。

又高齢者むけ無料送迎も行っております。

# セカンドオピニオンのご案内

当センターではセカンドオピニオン外来を  
実施しております。  
概要につきましては以下のとおりです。



## 対象患者さん

- 現在当センター以外の医療機関で診療を受けている患者さん、ご家族
- 現在の主治医（他医療機関）の診断及び治療方針について、当センター医師に参考意見を求め、患者さんご本人が自らの疾患をより理解し適切な診療を選択する等の為に、セカンドオピニオン外来の活用を望む方
- 原則として主治医（他医療機関）からセカンドオピニオンを目的とした紹介状及びフィルム等の検査資料を当院に提供可能な患者さん、ご家族であることを要します（主治医にセカンドオピニオンを受けるための紹介状等をお願いすれば対応してもらえます）
- 相談者をご家族の場合は、原則として患者さんの同意を得た場合といたします

## 実施診療科

【各科の専門医が対応いたします】

内科・精神科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・小児科・外科  
乳腺、内分泌外科・脳神経外科・呼吸器外科・産婦人科・泌尿器科・眼科  
放射線診断科・放射線治療科・歯科口腔外科



## 予約方法

**完全予約制 代表電話：027-322-5901**

※代表にお電話を頂き、「セカンドオピニオン係」とお申し付け下さい

【受付時間】 月曜～金曜 8時30分～17時の間

※精神科の受付時間は 月曜～金曜 8時30分～12時迄 となります

※事前にご予約電話を受け付け、担当専門医と日程調整を行った後に折り返し当センターより連絡させていただきます

## 外来時間

セカンドオピニオン外来時間（診療科によって曜日は異なります）

月曜～金曜 13時30分から15時30分の間で調整

## 費用

30分以内 5,400円(消費税込み)

30分以上 10,800円(消費税込み)



## セカンドオピニオンとは

セカンドオピニオンとは現在の自分の病状や治療方針について他の医師の意見を求めることをいいます。医療が進歩してさまざまな治療法が生まれています。

その結果、医師によって病気に対する考え方が違うことや、病院によって医療技術や診療の質に差があることも考えられます。治療法について具体的な比較ができ、より適した治療法を患者さん自身が選択することができます。

当センターでは、よりよい治療法を患者さん自身が選択できるように、セカンドオピニオンを積極的にお勧めしております。

## セカンドオピニオン 外来担当表

科名	医師名	専門	曜日
内科	佐藤 正通	内科全般、血液内科	火
精神科	井田 逸朗	がんのメンタルヘルス	木
呼吸器内科	茂木 充	呼吸器全般	金
消化器内科	工藤 智洋	食道、胃、大腸	木
	長沼 篤	消化器病一般、肝臓病	木
心臓血管内科	広井 知歳	狭心症・心筋梗塞の治療（カテーテル治療）	金
	太田 昌樹	不整脈一般	水
小児科	五十嵐 恒雄	小児科全般・未熟児・新生児	水
外科	小川 哲史	消化器外科全般、特に悪性腫瘍の手術	木
	坂元 一郎	消化器外科全般	水
	塚越 浩志	大腸	水
乳腺・内分泌外科	鯉淵 幸生	乳癌全般・甲状腺外科	第1・3・5週 金(午前)
脳神経外科	栗原 秀行	脳・脊髄腫瘍、脳神経外科全般	火
	笹口 修男	脳血管障害	木
呼吸器外科	菅野 雅之	肺癌、縦隔腫瘍、呼吸器外科全般	木
産婦人科	伊藤 郁朗	婦人科腫瘍	月、火、金
泌尿器科	井上 雅晴	泌尿器科全般	火
眼科	土屋 明	眼科全般（眼腫瘍を除く）	水、木
放射線診断科	根岸 幾	画像診断CT・MR中心	木
	佐藤 洋一	画像診断CT・MR中心	火
放射線治療科	北本 佳住	悪性疾患の放射線治療	金
歯科口腔外科	稲川 元明	口腔顔面痛	火、水、木、金
	薬師寺 孝	口腔外科全般、顎変形症、インプラント	月、火、木、金

# 外来診療担当表

当センターは、地域医療支援病院として運営しております。  
かかりつけ医の先生からの紹介状をご持参願います。

	月	火	水	木	金
総合診療科・内科	佐藤 正通 飯塚 堯	合田 史 真下 大和	合田 史	佐藤 正通 合田 史 <small>午後：予約専門外来</small> 飯塚 堯	佐藤 正通 真下 大和
栄養外来		佐藤 正通 <small>午後</small>			
内分泌代謝内科	渋沢 信行	(小澤 厚志)	武藤 壮平 (道又 敏夫)	渋沢 信行 <small>午後</small>	武藤 壮平
神経内科	(池田 雅美)	古田 夏海	藤田 智	(山内 菜由莉)	古田 夏海
呼吸器内科	茂木 充 <small>午前</small> 佐藤 麻里	竹村 仁男 大島 一真 <small>午前</small>	大島 一真 増淵 裕朗 <small>午前</small>	茂木 充 竹村 仁男	佐藤 麻里 大貫 祐史 <small>午前</small>
消化器内科	長沼 篤 安岡 秀敏 上原 早苗 <small>午後</small> 綿貫 雄太	工藤 智洋 星野 崇 鈴木 悠平 綿貫 雄太	安岡 秀敏 増田 智之 石原 弘 (蘇原 直人) <small>午後</small> <small>午前</small>	長沼 篤 増田 智之 鈴木 悠平 柴崎 絵理奈 <small>午後</small>	工藤 智洋 星野 崇 相原 幸祐 (岡野 祐大) <small>午後</small>
内視鏡検査	星野 / 増田	安岡 / 増田	工藤 / 綿貫	工藤 / 上原	長沼 / 鈴木 / 岡野
心臓血管内科 (循環器)	太田 昌樹 <small>午前：通常 / 午後：不整脈外来</small> 村田 智行	小林 洋明 高橋 伸弥 (金澤 紀雄) <small>再来</small>	広井 知歳 佐野 幸恵 静 毅人 <small>午後</small> 太田 昌樹 <small>不整脈外来午後</small>	福田 延昭 (金澤 紀雄) <small>再来</small> 湯浅 直紀	小林 紘生 <small>午前：通常 / 午後：不整脈外来</small> 太田 昌樹 <small>ペースメーカー外来、第2・4週午後</small> 柴田 悟
新患外来(午前)	高橋 伸弥	福田 延昭	村田 智行	佐野 幸恵	小林 洋明
精神科	井田 逸朗 村山 侑里	井田 逸朗 村山 侑里	井田 逸朗 村山 侑里	井田 逸朗	井田 逸朗 村山 侑里
小児科	五十嵐 恒雄 <small>午前</small> 徳永 真理 <small>午後</small> 内田 亨 八木 龍介 <small>午後</small>	五十嵐 恒雄 <small>午後</small> 倉田 加奈子 <small>午前</small> 八木 龍介 (神尾 綾乃) <small>第2・4週午後</small>	五十嵐 恒雄 <small>午前</small> 倉田 加奈子 <small>午後</small> 佐藤 幸一郎 <small>午後</small> <乳児健診> <small>午前</small>	倉田 加奈子 <small>午前</small> 徳永 真理 <small>午後</small> 小笠原 聡	五十嵐 恒雄 <small>午後</small> 徳永 真理 <small>午前</small> 佐藤 幸一郎 (西澤 拓哉) <small>第2、第4週午後</small>
小児外科		(西明・高澤 慎也) <small>第2・4週午後</small>			
外科 (消化器)	坂元 一郎 田中 成岳	小川 哲史 <b>&lt;手術日&gt;</b>	榎田 泰明 田中 寛	小川 哲史 平井 圭太郎 小川 哲史 <small>小川祐介(栄養士)</small>	塚越 浩志 星野 万里江
栄養サポート外来					
ストーマ外来			第2・4週日午後：予約	第1・3・5週日午後：予約	
泌尿器科	井上 雅晴	栗原 聰太	(青木 雅典)	井上 雅晴	栗原 聰太

## 1 外来診療 受付時間

8:30～11:00迄 (予約の場合は最終予約時間まで)

※再来受付機は8:00から受付しています

- 紹介状をお持ちの方、紹介事前予約の方は、1番：紹介状をお持ちの方・地域医療連携窓口で受け付けております。
- 当センター受診にはかかりつけ医の先生からの紹介状をご持参ください。紹介状をお持ちでない場合、診察をお受けできない場合や、長時間お待ちいただく場合がございます。

## 2 休診日

土、日、祝日、年末年始

- 学会等により、休診または医師が交替する場合があります。院内掲示をご覧ください。





地域医療支援・連携センターから地域の先生へお願い

当センターへの紹介の際は、  
地域医療支援・連携センターを通じた  
事前予約にご協力下さい。

( ) の医師は非常勤です。

	月	火	水	木	金
緩和医療科	田中俊行	田中俊行	田中俊行		田中俊行
乳腺・内分泌外科	鯉淵幸生	鯉淵幸生	鯉淵幸生	交代制／(中澤祐子) 午前、予約 午後、予約	鯉淵幸生 第2・4週目
	荻野美里	高他大輔	荻野美里 高他大輔 再診予約		高他大輔 荻野美里 第1・3・5週目
心臓血管外科	<手術日>		高橋徹	小谷野哲也	茂原淳
呼吸器外科	<手術日>	菅野雅之 高坂貴行 午後	<手術日>	菅野雅之 高坂貴行	<手術日>
整形外科	新井厚	大澤敏久	荒毅	新井厚	大澤敏久
	荒毅	(柳澤信明) 午後	信太晃祐	<手術日>	齋藤健一
	信太晃祐	齋藤健一	猪俣和弘		一ノ瀬剛
形成外科	(古賀康史) 午後				(田村健・濱田泰志) 交代制 午後
脳神経外科	島内寛也	栗原秀行 午前	<手術日>	笹口修男	佐藤晃之
皮膚科		(井上千鶴)			(須藤麻梨子)
産婦人科	伊藤郁朗	伊藤郁朗	田村美樹	満下淳地	伊藤郁朗 第2週は紹介・予約
	満下淳地	青木宏	(西村俊夫) <産後検診>	(金井真理)	青木宏
	永井あや	田村美樹		(森田晶人)	永井あや
眼科	土屋明 紹介・予約	土屋明	土屋明	土屋明	土屋明
眼形成眼窩外科	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎	笠井健一郎 <手術日>	笠井健一郎
耳鼻いんこう科	高橋克昌		<手術日>	高橋克昌	高橋克昌
放射線治療科	北本佳住	北本佳住	大高建	北本佳住	北本佳住
	大高建	大高建		大高建	大高建
歯科口腔外科	柴野正康	<手術日>	前山恵里	薬師寺孝	<手術日>
歯科(歯科麻酔) 摂食嚥下・口腔ケア外来	稲川元明 第1・3・5週のみ	稲川元明	稲川元明	稲川元明	稲川元明
	木村将典	倉持真理子	木村将典	木村将典	倉持真理子
	倉持真理子	(荒井亮・辻野啓一郎) 第2・4週のみ	倉持真理子		

(令和元年7月1日現在)

### 3 予約について

(医療機関からの  
紹介患者事前予約)

消化器内科、産婦人科、形成外科、眼形成眼窩外科、整形外科、神経内科、放射線治療科、歯科口腔外科、歯科(歯科麻酔)、呼吸器内科、耳鼻いんこう科は紹介事前予約制となります

- 分娩希望についてはこの限りではありません。
- 精神科も完全予約制となりますが、通常の予約方法と異なります。地域医療支援・連携センターにお尋ねください。

FAXの予約対応を平日は18:30まで行っています

- FAXは24時間受け付けています。

土曜日も予約受付を行っています(8:30-17:15)

### 4 連絡先

高崎総合医療センター内 地域医療支援・連携センター  
医療機関専用ダイヤル:027-322-5835 FAX:027-322-5925

## 日本の教育について

前回英語教育についての考え方を書きましたが、現在の日本の小学校で英語教育を行う準備が出来ていません。小学校の教員のうち、文科省が英語教員に求めている最低基準の「英語準1級程度」を満たす者は0.8%。中高の英語教員免許を持つ者は5%です。ということは、学校での英語教育の効果は上がらないことは明白で、学外の英語教室に通える児童と、それ以外の格差が拡大することになると思います。ドイツでは小学校から大学院に至るまで、公立校の学費はすべて無料です。学ぶことの経済的ハードルは低く、学力のレベルは高いということです。

日本から来たドイツ駐在員の子供が小学校に通っていて、算数が得意でいつも100点取って来るのに、評価が「普通」で戻って来て、母親が評価が低すぎると文句を言って来たら、先生が「お宅のお子さんは学校に来てはいますが、授業に参加していません」と言われて、「毎日授業に参加しています」と返答したら、「答えを考えるプロセスが大事で、教室というのは先生と生徒と一緒に作るもので、先生の言ったことを聞いて同じ答えを書いて出すのは教育ではありません」と言われたそうです。私も全く同感です。

今の日本の教育だと子供達も、学校の先生の言うことだけを一方的に暗記するようになっています。歴史認識についても同じ様なことが言えます。日本の高校の日本史は20世紀の歴史はほとんどありません。鎌倉時代や室町時代はやたら詳しく教えますが、今の世の中に直接関わって来るような話には疎いです。

ドイツの高校生が日本の高校生に、「靖国にA級戦犯が合祀されていることをどう思うか?」と質問したら「ヤスクニって何?」「A級ってフォーエバー?」とか言ったそうです。「A級」を「永久」だと思ったのだそうです。

イギリスでは4人の人が議論を始めると、4人すべて意見が違うことが多いそうです。多様な意見があって当然だという考え方です。

日本は昔から「全会一致」・「和をもって尊しとなす」を大事にしているのと大きな違いです。

日本の教育が、いい悪いはともかく、今のままでいくと世界から孤立してしまうと考えています。



病院長 石原 弘

## INFORMATION

行事などのお知らせ

お気軽にご参加ください



## ●第220回 市民健康医学講座

## 『知っておきたい糖尿病と薬のはなし』

日時：2019年8月21日(水) 17時30分～

講師：薬剤部薬剤師 伊藤 瑠衣

場所：当センター2階 大会議室

対象：一般の方 医療従事者

## ●地域連携症例検討会

## 『総合診療科・内分泌代謝内科の診断と治療の連携』

日時：2019年9月19日(木)

19時00分～20時30分

演者：総合診療科部長 佐藤 正通

内分泌代謝内科部長 渋沢 信行 ほか

場所：当センター2階 大会議室

対象：医師 医療従事者（申し込み必要）

※日本医師会生涯教育：1.5単位予定

## ●地域連携カンサーボード

8月は休会です

## ●CPC（臨床病理示説会）

8月は休会です

## 編集室より

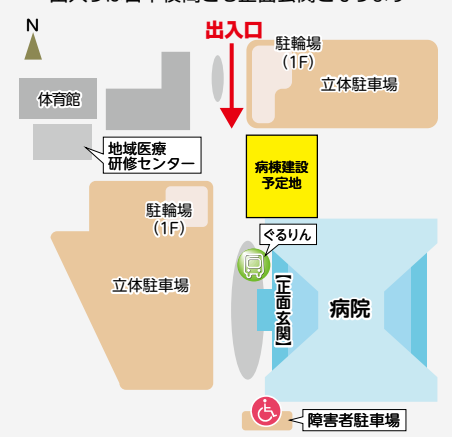
登録医の先生方からのご寄稿・ご意見をお待ちしております。地域医療支援・連携センターまでご連絡をお願いします。

電話 027-322-5835

(医療機関専用ダイヤル)

## 高崎総合医療センター案内図

出入りは日中夜間とも正面玄関となります



独立行政法人・国立病院機構

高崎総合医療センター